

いのち いちばん



2月22日（水）学習参観・懇談会・PTA全委員反省会



多くの保護者の方に、ご参観・ご来校いただき

ありがとうございました。新実行委員選出も、
合わせまして、感謝いたします。

一雨ごとに、春の暖かさが感じられるようになりました。

冬の寒さに耐え、春の到来を感じさせる梅の花。「和協の碑」がある中庭の、梅のつぼみが、開き始めました。花は、きれいな紅色です。紅梅の花を見ていると、「もう一息で春が来るよ」と、告げているかのようです。

3月5日は「啓蟄（けいちつ）」です。

「啓蟄」の意味は、「冬ごもりしていた虫がはい出てくる」こと。そよそよと、春風が吹く過ごしやすい季節が近づきましたね。

あと残り少ない本年度ですが、「学力の向上」「道徳心・社会性の育成」「健康・体力の保持増進」を念頭に置き、教職員一同、力を合わせて、ぜひいっぱい頑張っていきたいと思っています。

◆◆◆励ましのお声かけを！◆◆◆

ご家庭におかれましても、お子さんが学習に取り組む、がんばっている姿に、励ましのお声かけをお願いします。

きっと、お子さんは、もっともっと、力を発揮すると、期待しています。



「今福フェスティバル」(2月14日)

学年を越えた、たて割り班の取り組みで、それぞれのお店を出すために子どもたちは一生懸命でした。子どもたちの発想がすばしかったです。とても楽しい日となりました。それぞれの班の工夫を、少し紹介します。

「ねらってボウリング」

ペットボトルに水がうまいぐあいに入れてあって、それがおもりになり、倒れるのです。まるで、本物のボウリングのようでした。子どもたちの知恵は「すごい」と思いました。

「投げて数を競え」

的あての最中に、65点の的が動くので、とてもびっくりしました。なんと、最高得点が300点、また、マイナス100点の的には、びっくりしました。楽しい工夫がいっぱいでした。

「古今東西ゲーム」

お題が出されて、子どもたちが答えます。「どうぶつ・くだもの・おすし」など、様々なお題がありました。テンポよく答え、子どもたちがよく知っているのも、びっくりしました。

「〇〇と言えば」

お題が出されて15秒以内に答えます。6年生と言えばでは「すごい、カッコいい、頭がいい、頼りになる……」など、うれしい答えでした。6年生、がんばったかいがありますね。

「さよなら空き缶」

まず、このネーミングが「いいなあ」と思いました。そして、お店番の人の頭には、なんと空き缶の冠が……発想が素晴らしい。しっかり空き缶をねらってシュートしていました。

「とんとん相撲」

力を入れ過ぎても、かえってお相撲さんがたおれてしまいます。コツをつかむまで、難しかったですね。エキサイトして、とんとんしていましたよ。次々に、対戦していました。

「わくわく玉いれ」

的の得点が、1万点から1点まであり、私が行ったときの最高得点を聞くと、3万点と聞いていました。すごいですね。高得点をねらい、いろいろなものをめがけて一生懸命でした。

「ねらってあててフリスビーゲーム」

フリスビーがうまく飛んでも、的に当たらないときもあり、なかなか「ねらってあてて」が難しかったです。子どもたちは、楽しんで、エキサイトして、的にねらっていました。

「絵合わせゲーム」

絵合わせは全部で18組あるのですが、見つけるのが難しく、お店番の人と知恵比べです。絵合わせの絵を上手に隠し、探す人は一生懸命です。その姿が、いいなあと思いました。

学校ホームページ更新しています。ぜひご覧ください。

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e691543>